

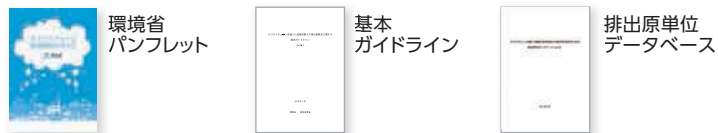
目次

当参考書のねらい

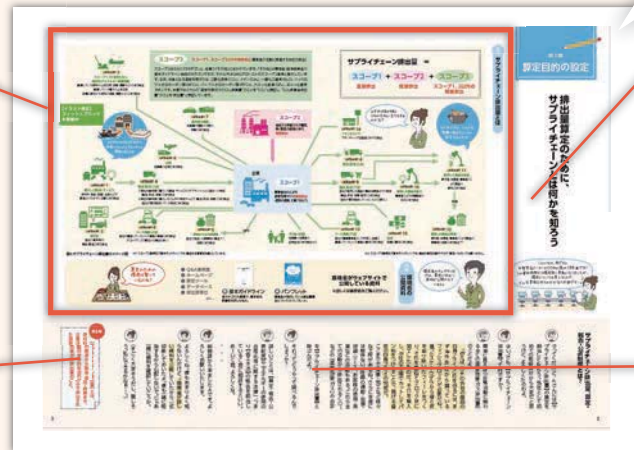
当参考書は、環境省・経済産業省の「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」(以下ガイドライン)に基づき、
 サプライチェーン排出量の考え方や算定方法などをわかりやすく記載したものです。
 「サプライチェーン排出量算定」の初心者の方を対象として、算定の初心者である主人公Aさんとともに、
 算定のポイントを体験しながら、ひとつひとつ読み進めていくことで
 「はじめてでもわかる」「基本から算定できる」ことを目標として作成されています。

本書の見方

【本書で使用する主な資料】



本文の補足事項や具体的な算定方法について図解します。



4章では「TRY」にて本章で身につけられる内容がわかります。

番号の付いた囲み部分は、上の図版と対応しており、より詳しいイメージを知ることができます。



1章～3章では【まとめ】として重要事項がまとめられています。4章では、ホームページの【Q&A】に掲載されている内容を確認できます。

登場人物

食品メーカー ○○社

環境部



Aさん
 総務課から環境部に異動してきた、入社5年目の女性社員。サプライチェーン排出量については何も知識がない。



B部長
 環境部の部長。サプライチェーン算定の必要性を感じており、今後の展開を検討している。Aさんを担当者に抜擢。



C先輩
 Aさんの先輩社員。算定報告公表制度、省エネ法の報告の担当者。面倒見がよく、Aさんと一緒に算定方法を学ぶ。

総務部

製造部

経営企画部

営業部

経理部

調達部



営業部
職員



経理部
職員



調達部
職員

グループ会社

○○社の調達先

環境省の問合せ窓口



技術的な質問にも対応してくれる。

当参考書のねらい 1

第1章 算定目的の設定 2

排出量算定のために、サプライチェーンとは何かを知ろう 2

サプライチェーンのカテゴリをどこまで算定するのか確認しよう 4

算定目的を確認し、どのように算定をすすめるか決定しよう 6

第2章 算定対象範囲の確認 8

どこまで、いつまでが算定対象か知ろう 8

第3章 活動の分類 10

自社でどんな活動をしているのか調査しよう 10

第4章 カテゴリ算定例 12

【カテゴリ6・7】人の移動 12

出張・通勤を実際に算定し、算定方法を理解しよう

【カテゴリ4・9】物の移動 16

輸送は区分に注意し、シナリオを用いた算定を学ぼう

【カテゴリ2・15】資本財・投資 20

他部署の協力を得られるように、算定意義をまとめるなどデータの依頼方法を工夫しよう

【カテゴリ1・3】調達 24

製品の調達金額データから算定しよう

【カテゴリ10・11】加工・使用 28

販売した製品の加工と使用の算定方法を理解しよう

【カテゴリ5・12】廃棄物 32

事業から出る廃棄物と販売した製品の廃棄の算定方法を理解しよう

【カテゴリ8・13・14】リース・フランチャイズ 34

リース資産【上流・下流】とフランチャイズの算定方法を理解しよう

【その他】 36

カテゴリ1～15で評価できない従業員や消費者の日常生活を算定しよう

おわりに 38

カテゴリ別排出量をまとめ、取組みの効果を検討しよう 38

アンケート調査などで取組みの効果を検討しよう 40

算定に役立つ各種ツールの紹介 裏表紙